

植物乳酸菌発酵エキス『マイ・フローラ』ご愛飲のお客さまへ

植物乳酸菌の免疫賦活化機能について

いつも野村乳業工場直送健康便をご利用いただき、ありがとうございます。

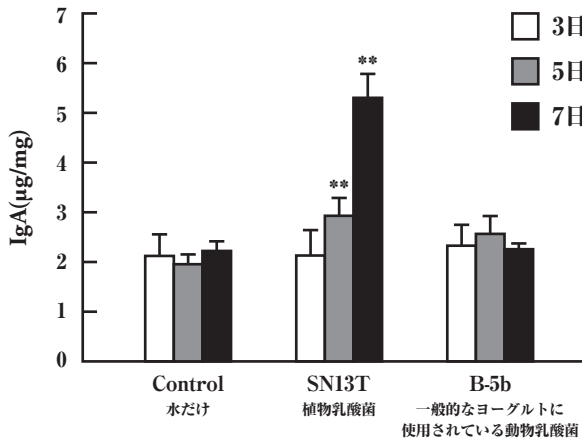
ウイルスの感染が拡大するなか、体調管理への注目が集まっています。
お客様から「マイ・フローラ」に使用されている乳酸菌に関するお問い合わせも増えております。

植物乳酸菌(ラクトバチルス・プランタルムSN13T株)については、
「免疫賦活化機能(免疫に活力を与える機能)」を研究した報告があります。

杉山政則教授(広島大学大学院医系科学研究科 未病・予防医学共同研究講座教授)
の研究報告をご紹介します。

「植物乳酸菌の腸管免疫性に関する研究」(広島大学大学院)

植物乳酸菌は免疫に活力をあたえます



糞に含まれる IgA 量の変化 (mean S.D.), **, $p < 0.01$

Jin et al., Biol. Pharm. Bull. 33(2) 289—293 (2010)による図を参考に作成

※IgA…免疫グロブリンAと呼ばれる粘膜免疫の主力。消化管や呼吸器における免疫機能の最前線として機能。初乳にも含まれ、細菌やウイルス感染の予防に役立つ。

【試験条件および評価等】動物実験による腸管免疫性の評価。実験動物として、BALB/cA系雌性マウス(日本クレアから購入)を使用した。また、植物乳酸菌として、*Lactobacillus(Lb.) plantarum* SN13Tを用いた。一方、動物乳酸菌として、*Lb. bulgaricus* B-5bを用いた。所定時間培養した各乳酸菌体を 1×10^8 CFU/mLとなるよう滅菌水に懸濁後、飲料水に混ぜてマウスに摂食させた(4.0±0.5 mL/day)。なお、滅菌水のみを摂食させたマウスをコントロールとした。摂食開始後3,5,7日ごとに、各群のマウスより新鮮な糞便を回収し、糞に含まれるIgA量を、ELISA法によって測定した。図が示すように、植物乳酸菌投与群においては、摂食日数が長くなると、糞便中のIgA量が有意に増加した。しかしながら、動物乳酸菌の摂食群においては、優位な増加は観察されなかった。

連日、感染状況などが報道され、不安に思う方は多いと思いますが、あまり過敏にならず、
風邪やインフルエンザを予防するように、まずは体調管理を心がけることが大切です。
ご不明な点などございましたら、下記へお気軽にお問い合わせください。

野村乳業 工場直送健康便 お客様係

TEL



0800-111-1192

メール

info@myflora.jp

携帯・PHS OK 【受付時間】9:00~17:00(土日祝日除く)